

にしのもんやかた
【西ノ門館の由来】

唐津城は初代藩主寺沢志摩守広高が慶長7～13年(1602～1608)に築いた平山城です。唐津市の現在の市街地の中心はその城内及び城下町にあたります。この三ノ丸の西側の出入口が西ノ門と呼ばれていました。門から東に向けて西ノ門小路と呼ばれた道路が続き、この周辺には藩士の住宅がならび唐津明神(唐津神社)や藩校志道館(小笠原氏の頃)がありました。

このような西ノ門周辺の歴史的ゾーンの一角に、市では平成6年に江戸時代の建造物のたたずまいをただよわせた出土文化財管理センターを建設し、西ノ門館と名付けました。

【西ノ門館の利用】

館では出土文化財の管理保存のほか、来館者のみなさんに文化財情報を中心に発信する場として唐津くんちの「曳山」の修理施設や展示室を設けています。

城下町散策の休憩の場所としても利用していただきながら、唐津の歴史情報に触れることができます。



Nishi no mon Yakata

◆ 西ノ門館周辺散策ガイド ◆



石垣の散歩道



唐津城(西ノ門館から徒歩15分)



旧高取邸(西ノ門館から徒歩5分)



埋門ノ館(西ノ門館から徒歩3分)



旧唐津藩藩校中門



曳山展示場(西ノ門館から徒歩3分)

- ◆ 開館時間 午前9時～午後5時まで
- ◆ 休館日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌火曜日)
年末年始(12月29日～1月3日)
- ◆ 入場料 無料

【お問い合わせ】

公益財団法人唐津市文化事業団 唐津市西ノ門館
〒847-0015 佐賀県唐津市北城内1番8号
TEL & FAX 0955-75-3667

西ノ門館

出土文化財管理センター

Karatsu City



Nishi no mon Yakata

曳山の蔵(曳山修理場)

佐賀県の重要有形民俗文化財である「唐津曳山」の保存修理(総塗替え)は、昭和61年(1986)に江川町が行ったのを最後に、市外の専門業者の元で行われていましたが、平成22年(2010)2月に、ここ西ノ門館内に曳山の修理場が完成し、久しぶりに唐津の地で総塗替えができるようになりました。更に平成27年(2015)1月には、現在のように増築改修が行われ「曳山の蔵」と愛称がつけられ、多くの唐津市民や観光客の皆様に見学していただき「唐津曳山」の伝統・文化を身近に感じ、後世に伝えることができるようになりました。



展示室

唐津城跡の発掘調査によって出土した陶磁器など、江戸時代の人々の生活を示す資料を展示しています。



唐津焼展示

約17窯元の若手作家を中心とした唐津焼展示を行っています。

